

県小中高生プログラミングコンテスト

知事賞に森さん(弓ヶ浜中) 安藤さん(鳥取西高)



自作したプログラムの機能や工夫した点を発表する出場者
= 4日、鳥取市若葉台南7丁目の県情報産業協会

鳥取県内の児童、生徒を
対象にしたプログラミング
コンテスト(県情報産業協
会主催、新日本海新聞社共
催)の最終審査会が4日、
オンライン形式で開かれ

た。1次審査を通過した10
組が「鳥取の未来」をテー
マに作ったプログラムを披
露。小中学生部門の知事賞
に弓ヶ浜中2年の森璃音さ
ん(13)、高校生・高専生部
門の同賞に鳥取西高2年の
安藤太亮さん(17)が決まっ
た。安藤さんは昨年に続く
受賞。

情報通信技術(ICT)
への関心を高め、技術者育
成につなげようと2011
年から開催。新型コロナウ
イルスの影響で昨年に続き
オンラインで実施した。

森さんの作品は県の産業
データを基に数値をグラフ
で「見える化」し、未来を
予測したプログラム。持続
可能な開発目標(SDGs)

思考を取り入れたゲームな
ど、楽しみながら郷土の未
来を考える多彩な作品が審
査員をつならせた。

同協会の田栗智幸人材育
成委員長(51)は「身の回り
の課題に目を向けた内容が
多かった。小学生の作品が
年々レベルアップし、プロ
gramming教育の浸透を実
感する」と総評した。

開催予定の全国大会への出
場は、森さんの弟で小学生
部門の最優秀賞となった彦
名小6年の凧君(12)、同3
年の然君(8)に決まった。
(野木 紘)